

令和元年 8 月 5 日

「学校法人加計学園岡山理科大学と公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部」との  
包括的連携・協力に関する協定の締結について

公益社団法人日本技術士会 中国本部  
岡山県支部長 田邊 信男

この度、加計学園岡山理科大学と公益社団法人日本技術士会中国本部岡山県支部は、科学技術に関して相互に連携・協力して、21 世紀の中核となる技術者の人材育成支援を推進し、もって地域社会の発展に貢献することを目的に、連携協力に関する協定を締結することになり、その調印式を下記の通り実施しましたので、お知らせします。

日時：2019 年 8 月 5 日（月）14：00～14：30

場所：岡山理科大学 50 周年記念館 3 階 会議室

日本技術士会は、科学技術の向上と国民経済の発展に寄与し、広く社会に貢献することを目的に昭和 26 年に設立されました。平成 23 年に公益社団法人に移行し、2021 年の令和 3 年には創立 70 周年を迎えます。岡山県支部は、平成 25 年に設立し、2019 年 5 月末時点で 167 名の会員で構成されています。

岡山県支部の活動は、日本技術士会の主要事業であります技術士の資質向上や社会貢献活動として、講演会や現場見学会、大規模災害時の被災者に対する技術的支援を行っています。さらには、企業や大学での技術士制度の説明会による技術士制度の普及及び啓発活動、津山高等専門学校でのキャリア教育では講師を派遣し技術系の人材育成を行っています。こうした岡山県支部の活動を、連携協力事項であります、産学官技の交流促進に関する事、技術教育の支援、地域貢献活動に生かし、21 世紀の中核をなす技術者の人材育成支援を行っていききたいと考えています。

両者の連携協力事項は、以下のとおりです。

- (1) 講師派遣など産学官技の交流促進に関する事
- (2) 技術教育支援などの技術協力プログラムに関する事
- (3) 科学技術振興のための地域貢献活動に関する事
- (4) その他双方が合意した事項

連携協力の具体的な内容は、これからの協議によりますが、以下の内容で検討しています。

- ・岡山理科大学の授業への技術士の派遣、岡山県支部主催の講演会の講師として教員の派遣
- ・小学生に対する理科教室への学生の派遣、岡山理科大学が主催する科学ボランティアセンターへの技術士の派遣



左が岡山理科大学 学長柳澤康信 右が中国本部岡山県支部の田邊支部長



参加者全員による記念撮影

# 「技術士」学生の取得を

岡山理大と  
県支部 連携協定結び推進

岡山理科大（岡山市北区理大町）は5日、国家資格「技術士」の学生による取得促進に向け、県内の技術士でつくる日本技術士会中国本部県支部（同間屋町）と包括連携協定を結んだ。

技術士は、高度な専門性を持つ技術者が得られる資格で、建設、上下水道、原子力・放射線など21部門がある。4年以上の実務経験が必要で、取得者は公共事業の技術監理や開発途上国への技術指導などで活躍している。

協定に基づき、県支部の技術士が、資格取得を考えている学生に授業を行う。学生は、技術士の知名度アップのため県支部が行う子ども向け科学教育イベントに参加して運営などに協力する。



協定書を披露する柳沢学長（左）と田辺支部長

同大で柳沢康信学長と県支部の田辺信男支部長が協定書に署名した。柳沢学長は「技術士と交流を深め、教育の質を高めたい」、田辺支部長は「理系学生のキャリアアップにつながる支援をしていきたい」と話した。

県支部は津山高専（津山市）とも同様の協定を締結している。（須藤里恵）